



学校便り

平成25年1月7日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

新年 あけましておめでとうございます

今年もよろしく願っています

新しい年を迎え、静寂だった学校に、子ども達の歓声が響き、活気が戻ってきました。子どもたちにとって、この冬休みは充実したものだったでしょうか。

今年初めての学校朝会では、新しく転校してきた4名のお友達を紹介するとともに、七草の節句についての話をしました。みんなで「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ 春の七草」と声に出して唱えるとともに、声に出すことを、今日、明日、来週、来月と続けることで記憶力が付いてくることなども子ども達に伝えてみました。

本年度も残すところ3か月となりました。一人一人の子ども達がそれぞれの個性を輝かせ、また自分自身の成長に喜びを感じ、日々の生活をともに送っているおうちの人、先生、友達そして地域の方々に感謝する心をはぐくむことができればと思います。

保護者のみなさま、地域のみなさま、今年も本校の教育活動にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ひろしま駅伝 のぼりで応援

昨年12月に、4年生の子ども達は、1月20日（日）に行われる全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に出場するチームを応援するのぼりを作りました。こののぼり作りは今回で4年目となります。今年度は、福井県と長崎県のチームを応援するのぼりを作りました。

のぼり作りに向けて、4年生のみんなは総合的な学習の時間の授業を通して、福井県と長崎県の特徴についてさまざまなことを調べ、のぼりのデザインに取り入れていました。4年生のみんなが作ったのぼりがはためく中、ランナー達が力走を見せてくれることを祈っています。

